

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アバンツアーレスポーツりふ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58 (回答者数)	38
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> サッカー支援プログラムによる、運動療育 サッカーが苦手でも、体を動かす事が楽しいと思える遊びや活動の提供を行う サッカー場を毎日使用してのサッカー支援プログラムの実施 	サッカーを通じて、出来た、頑張った、嬉しいと自己肯定感を育んだり、協力して活動する事の楽しさを感じてもらえるよう活動内容を工夫している。	活動プログラムを増やし、同じ活動にならない様工夫していく
2	<ul style="list-style-type: none"> 月に一回、利用者や保護者のニーズに合わせた支援内容の研修や事例検討会等を行っている 虐待防止研修や身体拘束適正化研修の強化 発達心理学を基にした療育研修の実施 	従業員研修を行う事によって、統一された支援が行う事ができる。 専門家による虐待防止研修や身体拘束適正化研修を行う事によって従業員に知識の向上と支援での円滑な対応に繋がる	利用者のニーズによりよく答えられるよう、従業員研修を充実させ、個々の知識やスキル向上を図る。
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や利用者との信頼関係強化 利用者のニーズに沿った支援の実施 	送迎時の引き渡し時や面談等で聞き取りを行ったり、活動の報告を行い、利用者の思いやニーズの確認を行っている	時間や場所を確保した、保護者や利用者が相談しやすい、話しやすい事業所になるよう取り組む

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	従業員の連携 支援方法の統一	アセスメント情報、個別支援計画の内容の理解に差がある 情報共有を行っているが、理解に差がある	会議での情報共有だけでなく、一人一人の従業員と研修を行い、特性等を理解できるようにする 支援方法の工夫、統一について、支援会議を重ねていく
2	事業所内での活動スペース	個に合わせた活動をするには狭いときがある	体育館やサッカー場を借りて、工夫した活動を行えるようにする 小集団の活動も取り入れ、社会性の向上に向けてのプログラムを考えていく
3			